



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年7月30日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 2268 URL <http://www.31ice.co.jp>
 代表者 (役職) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 仙次
 問合せ先責任者 (役職) 取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 渡辺 裕明 (TEL) 03-3449-0331
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 平成22年9月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の業績 (平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	8,308	13.4	889	25.9	904	25.9	515	28.8
21年12月期第2四半期	7,323	—	706	—	718	—	400	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	53 50	—
21年12月期第2四半期	41 52	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	12,714	8,573	67.4	889 74
21年12月期	12,192	8,455	69.3	877 49

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 8,573百万円 21年12月期 8,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	30 00	—	40 00	70 00
22年12月期	—	35 00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	35 00	70 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の業績予想 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,600	11.6	2,709	15.9	2,744	15.5	1,505	15.1	156 18

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年12月期2Q	9,644,554株	21年12月期	9,644,554株
22年12月期2Q	8,524株	21年12月期	8,524株
22年12月期2Q	9,636,030株	21年12月期2Q	9,636,030株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	8
【第2四半期累計期間】	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

※ 当社は、決算短信提出後速やかに当社ホームページに決算説明の動画を掲載する予定です。

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成22年1月1日～6月30日)における我が国経済は、一部では回復の兆しが見られるものの企業収益や雇用情勢は依然として厳しく、緩やかなデフレ状況の影響などにより、先行きに対する不安が払拭できない状態が続いております。

外食産業におきましても、消費者の生活防衛意識の高まりによる内食傾向や低価格志向が依然として強く、全体的には厳しい状況が続いております。

このような状況の下で、当社はサーティワンアイスクリームの永遠のモットーであります“*We make people happy.*”「アイスクリームを通じて人々に幸せを。」をスローガンに、積極的なプロモーション活動により消費者の来店意欲を喚起するとともに、消費者の嗜好に対応した新しく魅力ある商品を提供し、業績の向上に取り組んでまいりました。

そして企業の継続的成長を維持するため、①既存店の売上増加、②店舗開発の継続的促進、③安全かつ安心な商品の提供、④CSR経営の推進、この四つを経営基本方針とし、企業価値の増大に努めております。

営業面では、1月は、1月1日より11日間、アイスクリームの詰め合せ商品であるバラエティパックをお買い上げの方に、“スヌーピー”ガラスボウルをプレゼントするプロモーションを実施し、フレーバーのバラエティさ・楽しさを訴求するとともに、再来店を促進しました。

また1月12日からは、季節に合った苺の美味しさをたっぷり味わえる“フレッシュストロベリーサンデー”フェアを実施し、アイスクリーム専門店にしかできないサーティワンならではのシーズン・サンデーを提供することにより、ブランドの差別化を図りました。

2月には“ハッピースイート・バレンタイン”(1月30日～2月14日)として、期間限定のスイート・ペアカップやハート型ケーキ“ハートオンハート”、バレンタイン仕様のフレッシュストロベリーサンデー、バレンタインに因んだアイスクリーム3種類(チョコレートファッジシュूपリーム、ラブストラックチーズケーキ、ラブポーションサーティワン)をフォーカスするとともに、店頭店内をバレンタイン一色に飾りつけ、消費者の購買意欲を高めました。

3月の“ひなまつり”(2月15日～3月3日)では、“ひなだんかざり”、“おひなさまカップ”や、ひなまつり仕様アイスクリームケーキなどの期間限定商品を強化し、オケージョン商戦の売上を確保しました。

また昨年から戦略商品として位置付けている“アイスクリームケーキ”を3月1日よりゴールデンウィーク前まで店内のメインビジュアルとして強力に訴求し、更に4月からは番組提供テレビCM2本を3ヶ月間に亘り放映し、サーティワンならではのフレーバーを使用したアイスクリームケーキの売上拡大を図りました。

ゴールデンウィーク期間中(4月24日～5月5日)はダブルコーン・カップを31%値引きして提供するキャンペーンを実施し、期間中テレビCMにて大々的に告知しました。

5月は、5月9日「アイスクリームの日」に全国950店舗において2時間、ユニセフの募金をしてくださったお客様全員にレギュラー・シングルコーンを1つプレゼントする社会貢献イベント「フリースクープ」(今年で9年目)を実施し、全国で84万人ものお客様にご参加いただきました。お客様よりお預かりした募金と、当社からの寄付金とを合わせ、33,863千円を(財)日本ユニセフ協会を通じ、西アフリカのブルキナファソの学校建設など、子供たちの教育支援に役立てました。

5月9日から5月30日は「ビバレッジ・プロモーション」を実施し、5月6日新発売の“ポッピング

ソーダ”を含めたビバレッジ商品をお買い上げのお客様全員に“スヌーピー”ストラップをプレゼントしました。

6月からは、ダブルコーン・カップをお買い上げのお客様全員に1スクープをプレゼントする、今年で8年目となります好評の「チャレンジ・ザ・トリプル」(6月1日～7月19日)を実施し、テレビCMにより強力にキャンペーン告知をしました。

店舗開発の状況といたしましては、昨年から新しいロゴの看板と店舗デザイン「Hip Hop」を導入し、イメージを刷新した新しい店舗を1月から6月までで32店開設し、当第2四半期末の店舗数は998店舗と前第2四半期末に対して52店舗増加しました。改装は1月から6月までで41店実施し、既存店へも新しい店舗デザインの導入促進を致しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は売上高83億8百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

売上原価は、31億90百万円(前年同期比9.4%増)、売上原価率は38.4%(前年同期比1.4ポイント改善)となりました。売上原価の増加は主に売上増加によるものであります。

販売費及び一般管理費は、42億27百万円(前年同期比14.3%増)となりました。これは主にTVCMなどの広告宣伝活動の拡充に伴う広告宣伝費の増加(前年同期比142百万円増)、業容の拡大による人件費の増加(前年同期比87百万円増)、売上高や店舗数の増加に伴う物流費用の増加(前年同期比50百万円増)及び新ロゴ導入費用の発生(123百万円)によるものであります。

この結果、営業利益8億89百万円(前年同期比25.9%増)、経常利益9億4百万円(前年同期比25.9%増)、四半期純利益5億15百万円(前年同期比28.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は前事業年度末に比べ522百万円増加の12,714百万円となりました。これは主に12月と6月の売上ボリュームの差による売掛金の増加、7月以降の製品需要増に備えた製品及び原材料の増加、新規出店による敷金及び保証金の増加及び法人税等や配当金の支払による現金及び預金の減少によるものであります。

負債は前事業年度末に比べ404百万円増加の4,141百万円となりました。これは主に原材料仕入の増加による買掛金の増加、広告宣伝費の発生等による未払金の増加、ショッピングセンター内に出店している店舗の売上金をショッピングセンターを通して当社が一時的に預ることにより発生した預り金の増加及び、確定申告による法人税等の支払による未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は前事業年度に比べ1億18百万円増加の85億73百万円となりました。これは主に第2四半期累計期間の四半期純利益が前事業年度の期末配当金の支払額を超えたため、繰越利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想の修正については、本日(平成22年7月30日)公表の「平成22年度12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照して下さい。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

(一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(たな卸資産の評価方法)

当第2四半期会計期間末のたな卸高の算定に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎とした合理的な方法により算出する方法によっております。

(退職給付費用の算定方法)

退職給付費用は、期首に算定した当事業年度に係る退職給付費用を期間按分して算定しております。

②四半期財務諸表作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,056,965	3,233,198
売掛金	2,788,257	2,434,001
製品	495,105	365,758
原材料	337,967	244,486
貯蔵品	148,881	125,914
前渡金	67,224	113,306
前払費用	146,776	69,513
繰延税金資産	104,734	95,642
未収入金	26,261	24,408
その他	29,768	35,677
貸倒引当金	△23,959	△19,169
流動資産合計	7,177,983	6,722,739
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,488,536	1,492,807
減価償却累計額	△1,055,802	△1,045,581
建物(純額)	432,734	447,226
構築物	195,248	195,248
減価償却累計額	△152,789	△151,395
構築物(純額)	42,459	43,852
機械及び装置	1,969,395	1,939,585
減価償却累計額	△1,548,877	△1,520,706
機械及び装置(純額)	420,517	418,879
賃貸店舗用設備	2,476,214	2,382,675
減価償却累計額	△1,350,347	△1,293,535
賃貸店舗用設備(純額)	1,125,867	1,089,140
直営店舗用設備	165,430	173,601
減価償却累計額	△49,322	△40,936
直営店舗用設備(純額)	116,108	132,665
車両運搬具	18,627	18,627
減価償却累計額	△16,018	△15,405
車両運搬具(純額)	2,608	3,222
工具、器具及び備品	546,411	540,933
減価償却累計額	△359,400	△325,441
工具、器具及び備品(純額)	187,010	215,492
土地	226,362	226,362
建設仮勘定	29,370	2,147
有形固定資産合計	2,583,040	2,578,987

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
無形固定資産		
ソフトウェア	261,060	315,153
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	278,125	332,219
投資その他の資産		
投資有価証券	23,958	20,766
長期貸付金	17,919	22,329
従業員に対する長期貸付金	20,975	22,005
破産更生債権等	123,128	128,986
長期前払費用	523,755	514,946
繰延税金資産	137,374	138,170
敷金及び保証金	1,898,559	1,802,715
その他	19,685	3,220
貸倒引当金	△89,625	△94,289
投資その他の資産合計	2,675,731	2,558,851
固定資産合計	5,536,897	5,470,058
資産合計	12,714,881	12,192,797
負債の部		
流動負債		
買掛金	665,662	494,142
未払金	1,270,574	1,015,359
未払費用	25,510	23,579
未払法人税等	425,121	640,380
未払消費税等	6,797	80,084
前受金	271,654	255,537
預り金	268,320	93,694
賞与引当金	27,704	30,167
役員賞与引当金	6,000	14,000
その他	34,200	27,126
流動負債合計	3,001,546	2,674,073
固定負債		
退職給付引当金	127,038	119,600
役員退職慰労引当金	48,948	43,900
長期預り保証金	963,785	899,686
固定負債合計	1,139,772	1,063,186
負債合計	4,141,318	3,737,260

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	3,323,005	3,192,893
利益剰余金合計	7,631,682	7,501,570
自己株式	△16,793	△16,793
株主資本合計	8,591,254	8,461,141
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	931	△228
繰延ヘッジ損益	△18,623	△5,376
評価・換算差額等合計	△17,692	△5,604
純資産合計	8,573,562	8,455,536
負債純資産合計	12,714,881	12,192,797

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	7,323,544	8,308,508
売上原価	2,916,392	3,190,998
売上総利益	4,407,152	5,117,510
販売費及び一般管理費	3,700,235	4,227,693
営業利益	706,916	889,817
営業外収益		
受取利息	685	562
店舗用什器売却益	16,290	21,294
その他	4,447	2,602
営業外収益合計	21,424	24,458
営業外費用		
店舗設備除去損	9,613	9,282
その他	298	431
営業外費用合計	9,912	9,714
経常利益	718,428	904,561
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6,841	—
違約金収入	—	20,029
その他	—	5,098
特別利益合計	6,841	25,128
特別損失		
固定資産廃棄損	8,187	13,962
特別損失合計	8,187	13,962
税引前四半期純利益	717,081	915,726
法人税等	316,951	400,173
四半期純利益	400,130	515,553

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。